

令和4年度 学校経営計画書

美作市立土居小学校

1 本校のミッション（使命、存在意義）

豊かな自然に恵まれ、歴史的な魅力に満ちた本校は、地域の中心として学校への保護者や地域から寄せられる期待は大きい。児童が将来の社会生活を豊かに営んでいくために、「確かな学力（知）」「豊かな人間性（徳）」「健やかな体（体）」をバランスよく身につけさせ、自分らしく伸びていく姿をめざし保護者や地域の期待に応えたい。

教職員は、人間力や授業力のレベルアップに努め、家庭や地域との連携を図りながら、児童の意欲を引き出し、自己肯定感を育てる。「生きる力」と「豊かな心」を育む教育を充実させ、信頼される学校づくりに努める。



2 内外の環境分析

- ・自然の恵みにあふれ、静かで落ち着いた環境の中で教育活動ができる。
- ・児童は純朴で明るく素直な子が多く、全体的に落ち着いた学校生活が送れている。
- ・特別に支援を要する児童の割合が高く、専門家や専門機関・保護者との連携による教育の充実を図る必要がある。
- ・各種行事への参加支援、指導等をしてくださる保護者や地域の方が多く、大変協力的である。
- ・青色パトロール隊や地域住民など、登下校時の見守りを行ってくださる方が多い。

3 本校のビジョン（将来像、目指す姿）

学校経営目標「学ぶ喜びをもつ学校づくり」知(学びいっぱい学校)徳(やさしさいっぱい学校)体(元気いっぱい学校)
学校教育目標「未来を創る土居っ子の育成」
～学び合う喜びを感じ、心豊かでたくましく生きる子を育てよう～

指導の重点 ……(1) 基礎・基本の定着と活用力向上の指導
(2) 豊かな心とつながりを育む指導
(3) 命と生き方を大切にする指導

○めざす学校像 「子どもも教職員もみんなが輝く学校」
～こんな自分が「大好き」と自分の良さを発揮できる学校をめざして～

- めざす子ども像
- ・学び合う子ども（知）（主体的に学び、基礎基本の定着と活用力の向上）
 - ・助け合う子ども（徳）（お互いの良さを認め合い、協力と思いやりの心の育成）
 - ・粘り強くやり抜く子ども（体）（心と体を鍛え、失敗を乗り越える力の育成）

かしこく（知）・なかよく（徳）・たくましく（体）

- めざす教職員像
- ・子どもの良さががんばりを認め、子どもの心に寄り添い、子どもを鍛える教職員
 - ・日々の教育実践を大切にし、情熱を持って指導力を高めようとする教職員
 - ・組織の一員としての自覚をもち、協働して教育活動に真摯に取り組む教職員
- ※ベクトル合わせ（目標・課題の共有化）
※取組の具体化（校内組織の有機化、実効性のある指導計画）
※P D C Aサイクルの機能化
（学校評価の観点、手法の明確化、教育課程や行事等の見直し 他）

4 学校経営方針・計画

(1) 基礎・基本の定着と活用力向上の学習

《一人一人の良さを伸ばす学校・学級・授業づくり》
～「できた」という自信と「わかった」という満足感から先生や友達を信頼し、
「やりきる」という意欲や忍耐力を学び、生き生きと自分らしく、表現できる子どもをめざす～

- ①「主体的・対話的で深い学び」の実現のために、児童の多様な思考を引き出し、学び方や学びのプロセスを大切に全員参加の授業づくりを工夫する。
※根拠や理由のある多様な意見を交流し、考えを深め広げることができる全員参加の授業。
※単元計画& chromebook の活用
- ②特別支援教育と生徒指導の視点をもった授業として、児童の自己肯定感と自己有用感が育まれることを重視して取り組む。
※「個別の指導計画」「教育支援計画」等を活用し、行動観察、個別指導等を継続する。
- ③基礎学力、基礎技能の定着を図る。タブレットドリルの活用
- ④家庭と連携し、家庭学習の習慣化をめざし、読書や自主学習を推奨する。【Pとの連携】

(2) 豊かな心とつながる力の育成 《体験や交流から感動・感謝につなげる》 ～体験や交流を通して豊かな感性（感動・感謝の心）を養う～ （発信する力の育成）（SDG s の17の目標の活用）

- ①一人一人の良さを認め合い、支え合う学級集団づくりを土台として、信頼する心や自分たちの力で様々な課題解決に向かうたくましい心を育てる。
※縦割集団や異学年交流による仲間づくりとリーダーの育成
※あいさつ運動等を通して、子ども・保護者・地域の方々がつながる。【Pとの連携】
- ②「ふるさと学習」の中で、地域の人材や環境を積極的に活用する。
※ふるさとに学び、ふるさとの誇りと地域の人々へ感謝する気持ちを育てる学習
※地域学校協働活動との連携
- ③地域に発信・貢献できる地域交流を行う。
- ④中学校区を中心とした保幼小接続と小中連携の充実を図る。

(3) 命と生き方を大切にする子どもの育成

《児童が自ら考えて心と体を大切に実践する》
～保護者や地域との連携を密にし、自他を理解し大切にする子どもをめざす～

- ①一年間を見通した体力づくりを行う。
※岡山っ子運動習慣カードの取組
※土居宿マラソンを目標にした業間マラソンの取組
- ②生活安全・交通安全・災害安全を身に付ける授業や避難訓練の充実を図る。
※幼小合同避難訓練
- ③自らの命を大切にする生活習慣の獲得する。
※歯磨き指導
※病気の理解（癌教育等）
※性教育（体の成長の理解・LGBTの理解等）
※情報モラル（メディアコントロール力の育成等）【Pとの連携】
- ④生活に根ざした道徳教育と人権教育の推進を行う。
※保護者と価値を共有する取組
※なかよし（人権）集会の実施
※親子人権教育講演会の実施

